



大幸薬品

2025年12月期 (FY2025) 第1四半期 連結決算報告

2025年5月

大幸薬品株式会社

証券コード：4574

1. 第1四半期 連結決算業績

2. 第1四半期 セグメント別事業概況

3. トピックス



1. 第1四半期 連結決算業績

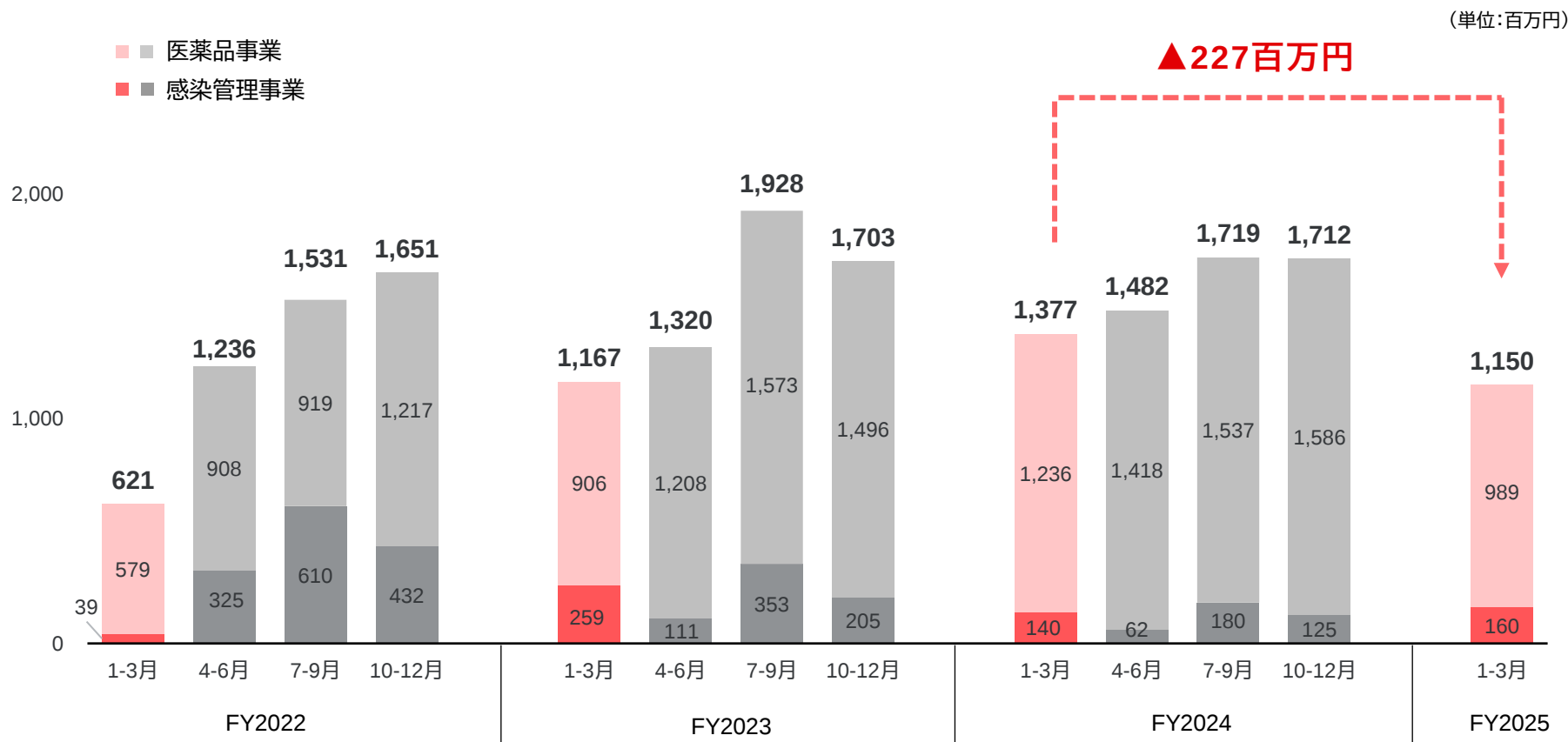
- 前年同期比では減収・減益となるものの、概ね計画通り推移
- 感染管理事業は増収となるも、医薬品事業において供給量減少により減収

(単位:百万円)

	FY2024		FY2025		増減額	増減率
	第1四半期 累計実績	売上比	第1四半期 累計実績	売上比		
売上高	1,377	-	1,150	-	△227	△16.5%
売上総利益	799	58.0%	679	59.0%	△120	△15.0%
販管費	584	42.4%	634	55.2%	+50	+8.7%
営業利益	214	15.6%	44	3.8%	△170	△79.5%
経常利益	229	16.6%	11	1.0%	△218	△95.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	472	34.3%	292	25.4%	△179	△38.1%

連結売上高推移(四半期)

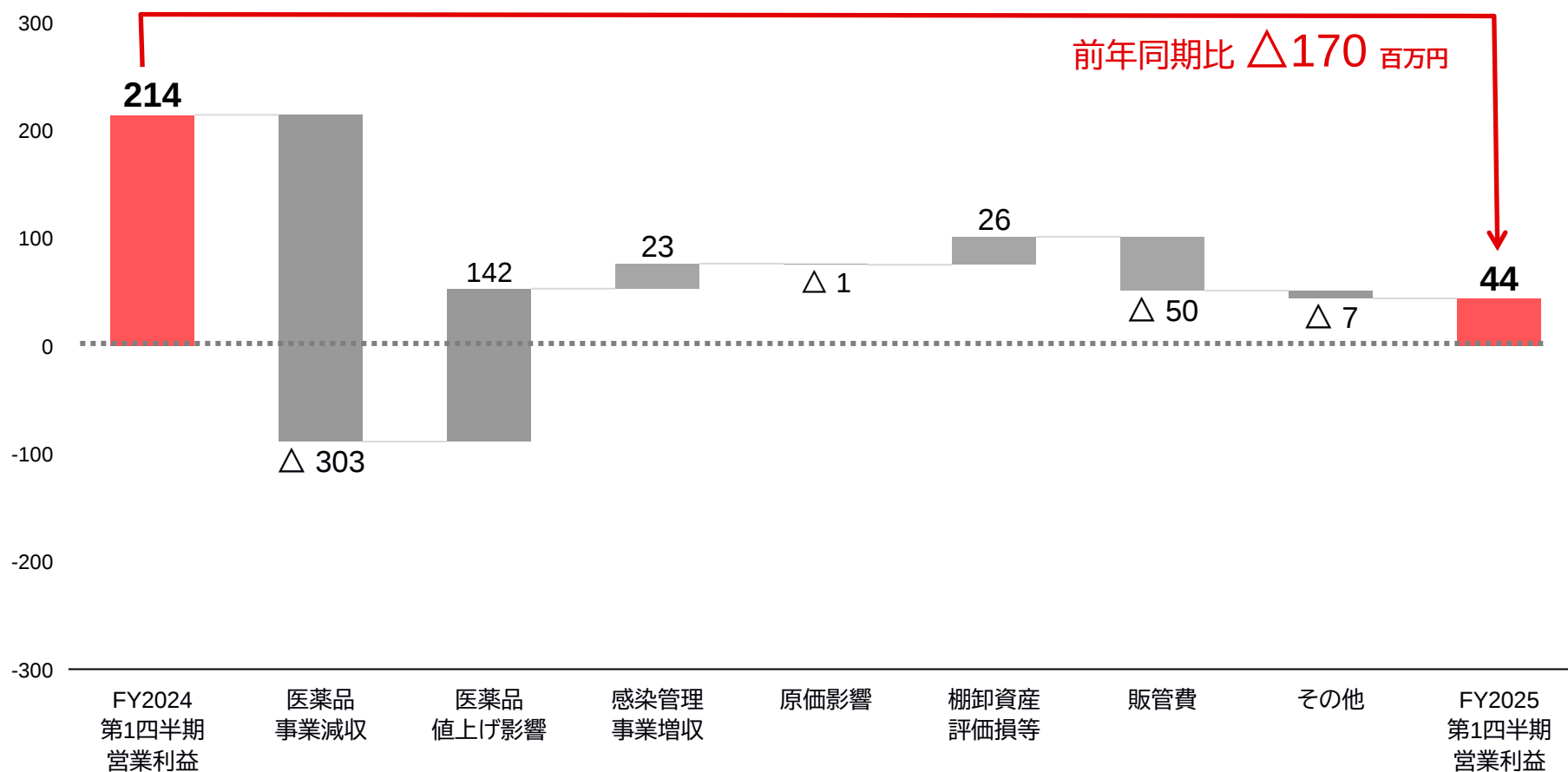
- 医薬品事業は、セイロガン糖衣Aの増収に対し、正露丸は供給量減少により減収
- 感染管理事業は、インフルエンザ流行期の営業・マーケティング強化により増収



営業利益の変動要因

- 医薬品事業において値上げ影響があるものの、数量減による減収が影響
- 感染管理事業におけるWEB広告強化により販管費は増加も黒字で着地

(単位:百万円)



販売費及び一般管理費

- 販売費は、インフルエンザ流行期における、感染管理事業のWEB広告強化により増加
- 人件費及びその他経費は全体的に減少

(単位:百万円)

		FY2024		FY2025		増減額	増減率
		第1四半期 累計実績	構成比	第1四半期 累計実績	構成比		
販売費及び一般管理費合計		584	-	634	-	+ 50	+ 8.7%
	販売費	77	13.3%	147	23.2%	+ 69	+ 89.3%
	広告宣伝費	17	3.1%	96	15.1%	+ 78	+ 437.2%
	販売促進費	21	3.7%	25	4.0%	+ 3	+ 18.0%
	運送費	38	6.5%	25	4.1%	△12	△32.5%
	人件費	284	48.6%	271	42.7%	△12	△4.6%
	その他経費	222	38.0%	216	34.1%	△6	△2.7%
	研究開発費	43	7.4%	40	6.3%	△2	△6.9%
	支払手数料	77	13.3%	80	12.7%	+ 3	+ 4.1%

経常利益・四半期純利益

- 営業外費用では、主に円高に伴う為替差損を計上
- 特別利益では、保有株式の売却に伴う投資有価証券売却益を計上

(単位:百万円)

		FY2024	FY2025	前期比	増減要因等
		第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績		
営業利益		214	44	△170	
	営業外収益	25	5	△20	主に前期為替差益の影響
	営業外費用	10	38	+27	主に当期為替差損の影響
経常利益		229	11	△218	
	特別利益	200	357	+157	前期:受取補償金200百万円 当期:投資有価証券売却益347百万円
	特別損失	-	-	-	
税金等調整前四半期純利益		429	368	△60	
法人税、法人税等調整額		△42	76	+118	
親会社株主に帰属する 四半期純利益		472	292	△179	

■ 長期借入金の返済や利益計上により、自己資本比率は、61.7%⇒65.6%へ向上

(単位:百万円)

		FY2024	FY2025	前期比	増減要因等
		期末	第1四半期末		
	流動資産	8,761	8,407	△354	
	現金及び預金	4,532	4,673	+141	
	売上債権	2,428	1,716	△711	
	棚卸資産	1,676	1,872	+195	医薬品在庫 1,679百万円 感染管理在庫 180百万円
	固定資産	4,152	3,753	△399	投資有価証券の売却による減少
資産合計		12,914	12,161	△753	
	流動負債	2,855	2,460	△394	
	固定負債	2,094	1,720	△374	長期借入金の返済等
	純資産	7,964	7,979	+15	
負債純資産合計		12,914	12,161	△753	
自己資本比率		61.7%	65.6%		



2. 第1四半期 セグメント別事業概況

セグメント別事業概況

- 医薬品事業 : 正露丸の出荷減少により、国内・海外ともに減収、セグメント利益も減少
- 感染管理事業 : 需要拡大により、クレベリンの売上が増加し、損益も改善

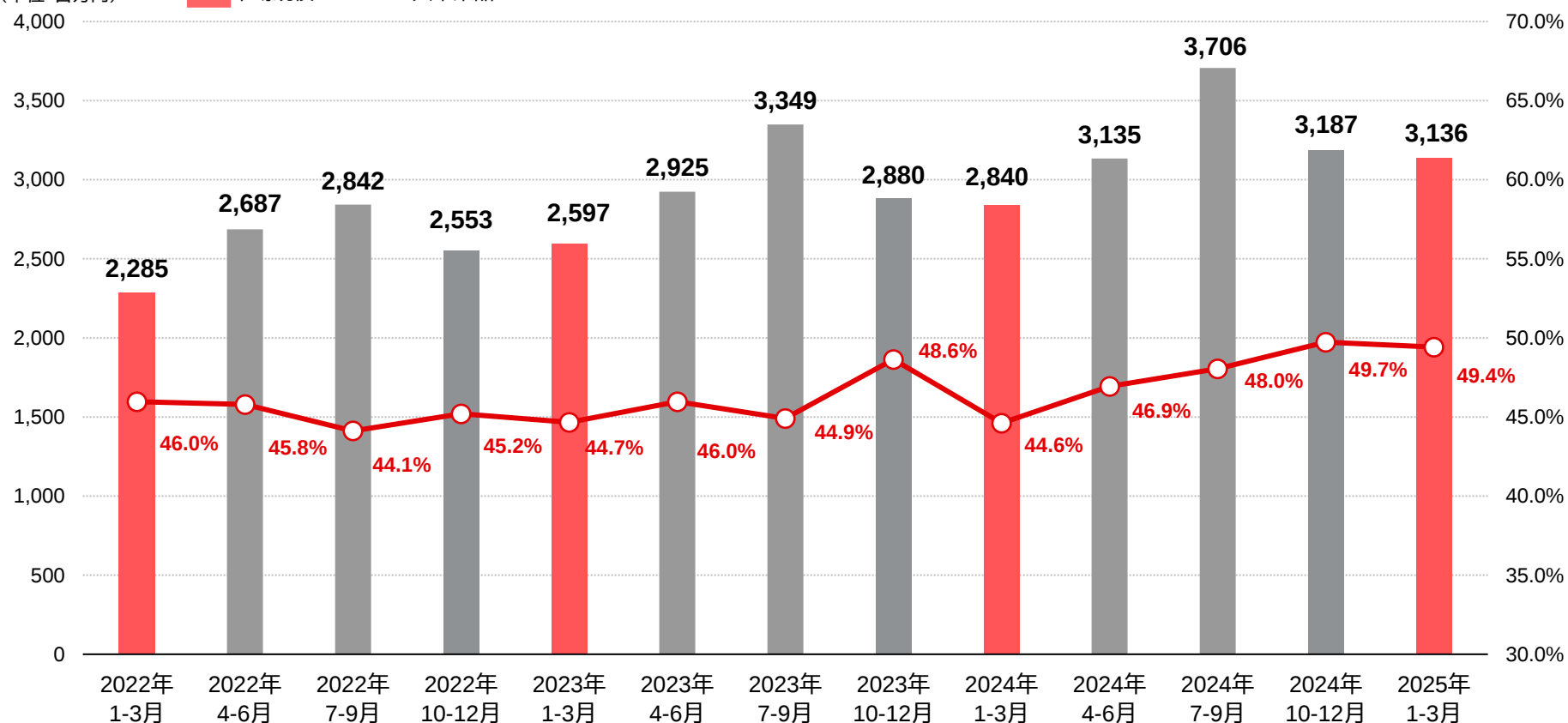
(単位:百万円)

		FY2024	FY2025	増減額	増減率
		第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績		
医薬品事業	売上高	1,236	989	△246	△20.0%
	セグメント損益	489	314	△175	△35.8%
	利益率	39.6%	31.8%	-	-
感染管理事業	売上高	140	160	+19	+13.7%
	セグメント損益	△64	△62	+2	-
	利益率	△46.0%	△39.1%	-	-
その他事業	売上高	1	1	+0	+8.9%
	セグメント損益	△2	△5	△2	-
	利益率	△279.6%	△479.2%	-	-

- 国内止瀉薬市場は前年同期比(1月-3月)で110.4%と堅調
- 当社シェアは49.4%と引き続き高い水準を維持

国内止瀉薬市場

(単位:百万円) 市場規模 大幸薬品シェア



※出所:株式会社インテージSRI+、店頭小売価格ベース

- 需要は堅調に推移するも、正露丸は供給制限の影響により減少
- セイロガン糖衣Aは、供給課題が解消したことや、携帯用の上市により大幅に増加

製品カテゴリー別売上高

(単位:百万円)

	FY2024	FY2025	増減額	増減率
	第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績		
国内医薬品事業売上高	981	903	△78	△8.0%
正露丸	794	486	△308	△38.8%
セイロガン糖衣A	226	447	+221	+97.4%
正露丸クイックC	60	67	+6	+10.3%
その他 ※	27	24	△3	△12.8%
返品・値引・協賛等	△128	△122	+5	-

※ 整腸薬「ラッパ整腸薬BF」、止瀉薬「ピシヤット」

正露丸



セイロガン糖衣A



正露丸クイックC



ラッパ整腸薬BF



ピシヤット下痢止めOD錠



- 国内市場との製造スケジュール調整により、前年同期比では減収
- 出荷調整の影響はあるものの、概ね計画通りで進捗

地域別売上高

(単位:百万円)

		FY2024	FY2025	増減額	増減率
		第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績		
海外医薬品事業売上高		254	86	△168	△66.2%
中国		1	110	+109	-
香港		284	△0	△285	-
台湾		-	-	-	-
その他対象エリア ※		-	-	-	-
返品・値引・協賛等		△30	△23	+6	-

※ 米国、カナダ、タイ、マレーシア、モンゴル等

SEIROGAN®

正露丸



セイロガン糖衣A



- 国内一般用は、インフルエンザ流行期のWEB広告等により増収
- 一般用、業務用、海外ともに減収傾向に底打ちの兆しがあるものの、引き続きコストコントロールを強化しつつ、損益改善を目指す

対象顧客別売上高

(単位:百万円)

	FY2024	FY2025	増減額	増減率
	第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績		
感染管理事業売上高	140	160	+19	+14.1%
国内一般用	123	143	+19	+15.7%
国内業務用	51	51	+0	+0%
海外	9	13	+4	+46.0%
返品・値引・協賛等	△44	△48	△4	△9.1%

クレベリン





3. トピックス



持ち運びに便利なかawaiiおなかのお守り 『セイロガン糖衣A 携帯用』新発売

- ◆ 匂いの気にならない糖衣タイプ
- ◆ 手のひらサイズでカバンやポーチに
- ◆ 主成分は天然由来の木クレオソート
- ◆ 眠くなる成分を含まないため、ドライブ時にも安心



SNS(Instagram、YouTube)を中心に20～30代の女性 とそのご家族に向けたプロモーションを開催中

- ◆ 日頃から“お腹トラブル”に悩む人は約6割
- ◆ 外出時のお腹の不調は10～20代の女性が約40～60%と高い傾向





大幸薬品

将来情報に関する注意事項

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません